



第6号(9月号)
令和元年
8月28日発行

みどりの風

こころざし高く
思いやりのある
深小っ子の育成



課題に挑戦する2学期に！

校長 新井 英 男

39日間の夏休みが終わりました。子供たちは、夏休み前に計画したことが予定どおり終わったでしょうか。「安全・安心で、よく学び、よく遊び、挑戦する夏休み」になったでしょうか。

夏休み中には、色々なスポーツがありました。高校野球、ラグビー日本代表の試合、全英女子オープン、バドミントン世界選手権、柔道世界選手権、テニス全米オープン等で大いに盛り上がりました。選手の活躍とともに、その選手のそれまでの道のりも紹介されていました。目標をもって努力を続けてきたこと、心の持ち方が大切であること等が紹介されていました。

「笑顔」「家族の支え」「チーム力」「感謝」「努力は報われる」等、様々な心に残る言葉を選手が話していました。子供たちは、夢をもつこと、仲間と力を合わせる大切さ、最後まであきらめないこと、そして、感謝の気持ちを忘れないことなど、多くのことを学ぶことができたのではないかと思います。

子供たちには、多くの可能性、未知なる力があります。自分の力に限界を決めないで、夢をもって色々なことにチャレンジしてほしいと願います。

2学期も、子供たちの心や身体が大きく成長し、笑顔一杯で過ごせるように、教職員で力を合わせて努力していきたいと思います。今学期も保護者の皆様、地域の皆様のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

<新しい職員の紹介> 風間 勉 教諭 「よろしくお願いいたします。」
3年生の算数、理科、3・4年の書写等の授業をし、1・2年生の生活科にも出る予定です。

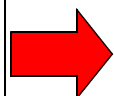
子供の不安への対応

<臨床心理士 庄野伸行先生の講話から>

以前、「子供の不安への対応」ということで講話を聞く機会がありました。そこで、印象的だったことを掲載いたします。

- ◆不安とは、「これから起こるかもしれないことへの心配・恐れ」である。
- ◆思春期の子供たちは、社会性が乏しく、新しい場面・環境に踏み出す不安がある。今後の見通しを具体的に説明することで、不安感が安心感に変化する。
- ◆時間をかけて肯定的な社会経験を増やし、達成感や自己肯定感をもてるように支えていきたい。
- ◆安心感が出てきたところで、次にうまくいっていることに焦点を当て、評価し、ほめることで、自信を回復していく。
- ◆”受容”(受け入れる・味方になる)と ”支持”(支えて、親が後ろでどーんと構えてあげる)が十分に実施されれば、それだけで不安は解消される。
- ◆ずっと怒られ続けてくると

・自尊心の低下「どうせ俺なんか・・・」
・被害的な感情「いつも俺ばかり・・・」
・うつ状態「かったるい・・・、べつに・・・」
・反社会的な行動「俺の好きにやるぜ・・・」



非行に走るときがある
(外在化：不満を外に向ける)

- ◆短所を修正させるより、長所を伸ばす方向で。
- ◆『叱るの1回、ほめるの いっぱい！』(たくさん、ほめていきましょう！)

親子奉仕作業

8月17日(土)、親子奉仕作業で大変お世話になりました。猛暑の中での作業ということでご負担をおかけしてしまいました。ご多用の中、都合をつけて参加して下さった多くの方の熱心な取組のおかげで、短時間でとてもきれいになりました。鬱蒼(うっそう)としていた雑草や植木の枝がすっきりとしました。ありがとうございました。



深小っ子フェスティバル

奉仕作業と同日の夕方、『第20回深小っ子フェスティバル』をPTA執行部と研修委員会の皆さんが中心となって開催してくださいました。深小っ子の笑顔のために、保護者の皆様が全力を注いでくださいました。昨年度のうちから何度も会議をもち、綿密な準備を行ってくださいました。親子で同じ時間を共有し、親子共々最高の思い出ができたようです。執行部の皆様、研修委員会の皆様、そして、陰から支えてくださいました歴代PTA会長の皆様、今年も大変お世話になりました。ありがとうございました。



2学期始業式～9月の主な行事予定

日	曜日	主な学校行事	日	曜日	主な学校行事
28	水	始業式、特日3、登校指導	14	土	深谷中学校体育祭
29	木	登校指導、身体計測(なかよし・1年)、特日、アルミ缶回収、給食開始	15	日	発明創意くふう展(妻沼中央公民館)
30	金	登校指導、すくすくタイム、避難訓練	16	月	敬老の日
31	土		17	火	運動会全体練習④・ふれあいタイム、クラブ
1	日		18	水	チャレンジタイム
2	月	特日、読書タイム、身体計測2・3年、6年親善運動会練習開始、PTA理事会	19	木	特日、アルミ缶回収、基礎タイム
3	火	全校朝会、身体計測3・4年、ふれあいタイム(応援)、委員会	20	金	特日4、学級の時間 運動会前日準備
4	水	運動会全体練習①	21	土	運動会(弁当)
5	木	特日、アルミ缶回収、身体計測4・5年、研修(Asukaモデル)	22	日	運動会予備日①
6	金	すくすくタイム、身体計測6年	23	月	秋分の日
7	土	深谷市科学展覧会(常盤小学校)	24	火	チャレンジタイム、一斉下校、運動会予備日②(給食あり)
8	日	深谷市科学展覧会(常盤小学校)	25	水	学級の時間、5年社会科見学
9	月	特日、読書タイム	26	木	特日、アルミ缶回収、学校運営協議会、図書ボランティア
10	火	チャレンジタイム、ふれあいタイム(応援)、運動会係打合せ	27	金	振替休業日(運動会の振替)
11	水	運動会全体練習②、緊急連絡運用テスト(~17日)	28	土	
12	木	特日、アルミ缶回収、研修	29	日	
13	金	運動会全体練習③、口座引き落とし	30	月	特日、朝掃除、学校訪問

※2学期の主な行事 10/1 親善運動会、10/26 フリー参観、11/9 産業祭、11/16 芸術鑑賞会、11/19 学校保健委員会、11/27 持久走大会、11/29 校内カルタ大会、12/6 授業参観、12/24 終業式

本校のホームページから

【7月18日】『今日もたくさん集まりました』～アルミ缶回収～

本日も、ボランティア委員会の子供たちと職員で、朝から汗をかきながら、アルミ缶回収を頑張りました。ご家庭の協力もあり、毎回、たくさん集まっています。本日は、幼稚園からの4kgもあわせて、23.5kgとなりました。ありがとうございました。



【7月24日】『深谷まつりに向けて』～練習しているところを回りました～

昨日（23日）、本日（24日）と2日間で、お祭りの練習をしている10地区を全て回ることができました。本校の子供たちが、多くの方のお世話になって、とてもかっこよく立ち振る舞っている様子を見て、大変うれしくなりました。

地域のお年寄りの方から中学生まで、子供たちにとっての地域の先輩から、どのようにするのかを優しく教えていただき、伝統を守っている姿に感動しました。

明後日、26日からのお祭りで、子供たちは大活躍してくれることでしょう。子供たちにとって色々な自信をもつことができると思います。お祭りの期間も、子供たちのことをよろしく願っています。



【7月26日】『深谷まつり始まる』～八坂神社前で神幸祭～

本日、朝7時から瀧宮神社境内八坂神社前で神幸祭が行われました。今年は、相生町が年番ということで、相生町の子供たちも集まっていました。

子供たちには、これまでの練習の成果をしっかりと発揮してほしいと思います。ただ、大変暑くなることが予想されますし、台風がどうなるかも気になります。子供たちには、体調面に十分気を付けてほしいと思います。保護者の方、地域の方にもお世話になります。よろしくお願いいたします。



【7月27日】『6年生の茶道教室』 ～埼玉よみうりに掲載～

昨日7月26日の埼玉よみうりに、本校6年生の茶道教室の様子が掲載されました。当日（7月10日）は、テレビ埼玉と埼玉よみうりの取材があったのですが、テレビ埼玉は、当日夕方に放映されました。



【7月30日】『サンキュー ♡ かもめ』

深谷郵便局の手紙振興支援事業『サンキュー♡かもめ』による「かもめーる」はがきを本校全児童がいただきました。1学期末に子供たちに配布しました。この事業は、今年度初めて深谷郵便局が考えてくださった事業です。郵便局が協賛事業所を募り、協賛事業所が本校の子供たちのためにはがきをくださいました。どの事業所が協賛してくださったかは、子供たちが持ち帰った用紙に書いてあります。ホームページの7月30日のところにも掲載しました。ありがとうございました。➡

【7月31日】『本校ホームページ訪問者』～150万人に到達！～

訪問者数150002人（7月31日午前2時10分）

本校のホームページ訪問者が150万人に達しました。毎日1500人以上の方が本校のホームページを訪れてくださっています。大変ありがたと思います。夏休みで子供たちが学校にいませんが、これからもずっと毎日、土日、夏休み中も続けて発信していきます。

今後とも、色々な情報を発信していきますので、毎日ご覧ください。これまでありがとうございました。そして、今後ともよろしくお願いいたします。



【7月31日】『堂々と質問』～深谷市子ども議会～

本日、午前中、深谷市議会議場において、子ども議会が開催されました。市内小学校19校から19人の代表児童が集まりました。

本校からも6年生代表児童が「深谷市の今後の町づくり」について、堂々と質問をすることができました。落ち着いた、素晴らしい態度でした。

協働推進部長からの回答は、次のようなものでした。

- ・ 渋沢栄一翁やふっかちゃんのパロマークの入ったポロシャツを作成して、PR活動を行っている。
- ・ 富岡製糸場に関係した尾高惇忠、荻塚直次郎をはじめ、畠山重忠、北川ちよ、野口源三郎等の人物や、東京駅、レンガ等の歴史的魅力をたくさんの人が華やかにPRしている。
- ・ 市役所だけでなく、市民みんなでPRすることが大切。
- ・ 深谷のよいところを探して、どんどんPRしてほしい。



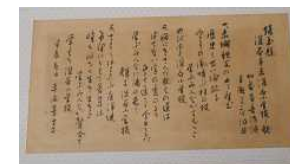
小島市長からは、8月2日から深谷市民文化会館展示室で、企画展『ふかや新発見』を行う中で、日本煉瓦関係の資料の展示や深谷にゆかりの人物や芸術家の作品等を展示するので、ぜひ見ていただきたい。これからも深谷市の偉人や、関係する人・もの等をどんどんPRしていきたいというお話がありました。

【8月3日】『校歌と愛唱歌は、歌えますか？』

本ホームページのトップページ右側に、校歌と愛唱歌を掲載しています。

その校歌と愛唱歌の所に、『歌入り』と書いてあり、クリックするようになっています。クリックすると、子供たちが歌っている歌を聴けるようにしました。

子供たちはもちろん、保護者の皆様にも、本校の校歌と愛唱歌を覚えていただき、一緒に歌っていただければ幸いです。



【8月7日】『本校児童数の移り変わり』～147年の歴史の中で～

夏季休業中に、本校が1873年（明治6年）にスタートしてからの児童数の移り変わりを調べてみました。

1873年、高台院で習字等を教えていた頃は50名でした。それがどんどん多くなり、1957年（昭和32年）のときは、何と3389名にもなったということです。このときは、本校の最高人数でした。

その後、1958年桜ヶ丘小、1961年深谷西小、1971年常盤小ができて、どんどん分かれて少なくなり、その後も人口の自然減少により、2019年の今は、491名となっています。ここ数年は、毎年30人程度減少している状況です。

この児童数の移り変わりのグラフを職員室廊下に掲示しましたので、学校においでの際には、ご覧ください。（ホームページの8月7日のところの「児童数の移り変わり」をクリックするとご覧になれます。）

